

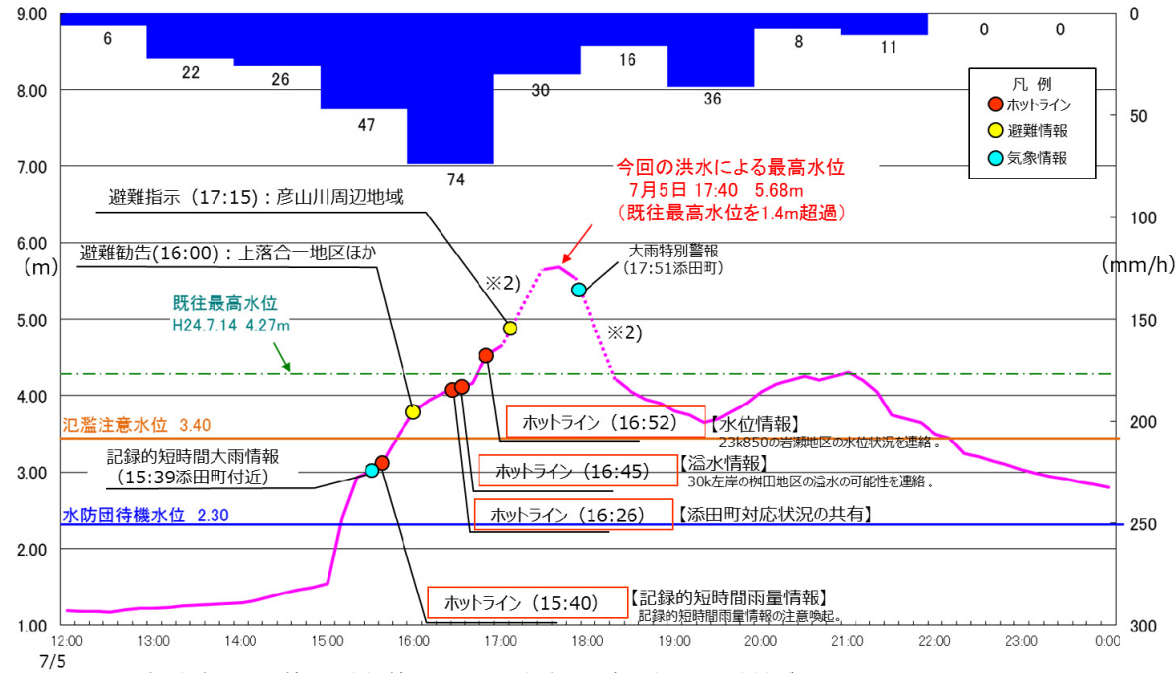
「水防災意識社会 再構築ビジョン」の主な取組の効果

- 自治体、福岡県、国からなる「遠賀川圏域大規模氾濫減災協議会」で検討された減災に関する取組方針に基づき、タイムラインを活用するとともに遠賀川河川事務所長から自治体首長へのホットラインを実施。
- 「平成29年7月九州北部豪雨」においては、タイムラインを作成し運用していたことから、河川の状況と避難勧告発令等に関する判断が明確になっており、さらに、遠賀川河川事務所長と添田町長間のホットラインにより連携を密にすることで、添田町は対象地域に対し、避難勧告・指示を速やかに発令することができた。
- なお、洪水後に添田町長から河川事務所長へ、「避難勧告・指示の発令に際し、ホットラインにより、彦山川の状況や今後の見込みについて、直接聞くことができ、大変有効であった。」との意見をいただいた。

7月5日からの豪雨に伴い、彦山川では上流の添田町において、溢水が発生し50戸を超える家屋の浸水被害が発生したが、人的被害はゼロであった。

遠賀川河川事務所から添田町へのホットライン

添田水位観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング



- ※ 1) 本資料の数値は、速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。
- ※ 2) 本グラフの破線箇所は「欠測」データのため、任意で表記しています。
- ※ 3) 避難勧告・避難指示は、彦山川（添田町）に関係している部分のみを記載しています。

避難勧告 5日16:00 上落合一地区ほか (300世帯744人)
 避難指示 5日17:15 彦山川周辺地域 (2,915世帯6,188人)

【位置図】

